２０１６年
２１７号
6月２２日（水）

ねんきん越谷

全日本年金者組合越谷支部
〒343-0845
埼玉県越谷市南越谷2-13-49
（越労連内）
TEL・FAX 048-989-2472
E-mail keyaki-n@biscuit.ocn.ne.jp

「これからの年金はどうなるか」
年金についての学習会開催

年金者組合なのに年金のことを知らないのでは困るという訳で年金について基本的なことから勉強しようと「年金学習会」を5月25日に中央市民会館の会議室で開催し、19人の方が熱心に勉強しました。

講師は年金者組合の各地の支部で年金の学習会の講師を担当している社会保険労務士の夏野弘司さんです。

最初に今年の公的年金は金額的にはほとんど昨年と変わらないけど物価が上がった分だけ目減りしているとの話から始まりました。

続いてこれからはどうなるかとの説明では、そもそも年金はどういう仕組みなのかの話から易しく話してくれました。制度の話、今までの年金保険料、年金受給額の説明から、今後はこの制度でどのようになるのかをグラフやイラストを資料としてもらい詳しく聞きました。そのほか、遺族年金制度、マイナンバーの話から共済年金に統合の話もありました。

最後に年金者組合で取組んでいる最低保障年金制度や年金引き下げ違憲訴訟の重要性についての説明がありました。休憩の後、参加者から年金についての質問や意見が出され、講師からコメントをもらいました。その中で賦課方式か積立方式かの話題が出されました。その年の年金給付はその年の保険料で行う、つまり現役世代が負担する保険料と国庫負担を財源として年金を受給するという賦課方式か、自分で負担した保険料が自分の年金になる積立方式か。講師は賦課方式との説明でしたが、色々なご意見が出されました。

この日の学習会に参加できなかった人は支部の事務所にレジメのこりが少しありますので執行委員に申し出て下さい。

学習会の様子　　講師は夏野弘司さん

●●北浦和公園でオール埼玉総行動
●●国会包囲行動に年金者組合の旗

5月29日オール埼玉総行動は、吉田・山本・伊東・足立・望月・内藤・大久保（勝）・大久保（弘）・関根（和）・関根サダ子・古舘・大高の12名が参加、越谷市からは40名以上、総勢９千６百人が参加しました。年金者組合越谷は南与野コースの先頭を行進しました。途中の中学校前では２階の窓から生徒らが拍手や手を振って応じてくれました。南与野コースは３キロで当日は大変暑い日でしたが、年金切り下げ反対！」「戦争法廃止！」大きな声で頑張りました。

６月５日国会包囲行動には、吉田・五十嵐・内藤・大野・広瀬他３０余名が日比谷公園前に集合しました。私たちの「年金組合旗」はひときわ目につきました。「アベは退陣」を声高らかに叫び、「戦争法反対」を熱く訴えました。右翼の街宣車が数台私らの集会を妨害しましたが、参加者の声はさらに大きくなりました。

（吉田健治）

点睛
さあ、安倍内閣を倒すチャンスだ

◆安倍首相は「来年４月の消費税10％への引き上げを２年半延期する」と発表しました。１年７ヶ月前の総選挙時に「17年４月に実施する。断言する」と言っていたことからの大きな変更です◆「アベノミクス、アベノミクス」といくら強調しても消費税を上げられる経済状況を作れなかったのです。アベノミクスは失敗したのです◆安倍首相は引き上げ延期の口実を伊勢志摩サミット・Ｇ７で「世界的な経済リスクの共通認識」にしようとしましたが、ドイツやフランスから異論が出てこれも失敗◆追いつめられて持ち出した理屈が「新しい判断」。俺が決めたこと文句を言うなです◆安倍のやり方は、選挙公約でチョビっと言って議席を多数とればやりたい放題。「戦争法」も「秘密保護法」もその手法でした◆そして彼の最大の狙いは「憲法改定」です。参議院選挙で改憲派の議席を３分の２確保しよう。そのために衆議院も解散し〝衆・参同時選挙〟も考えました◆そこに障害となったのが参議院選挙で32ある一人区。バラバラだと思っていた野党４党（民進・共産・社民・生活）の共闘。これが強固とみるや衆議院解散はあきらめました◆彼は最近「憲法改定」を言わなくなりました。しかし参議院選挙で３分の２の議席をとれば「緊急事態条項」など国民に受け入れやすそうな部分の「改憲」から手をつけて来るのは見え見えです。「緊急事態条項」とは「戒厳令」のことです◆一人区の共闘は４党の努力もあるが、最大の力は〝国民の行動〟〝後押し〟だと思います。毎週金曜夜の「原発反対官邸前行動」は４年以上、２００回を超え、世界でもマレな運動となっています。それに勇気づけられ「野党は共闘！」の運動・集会は大きな力を発揮しています◆この力を信頼し、みんなで選挙に行き、自民・公明を少なくしようではありませんか。そうすれば安倍内閣は必ず倒せるでしょう。

（山本英郎）